

競技規則

第2編 組織規則

2024年3月更新版

A : 競技会の共通規則

第1章 序文

適用	0.1 - 2
競技会の種類	0.3
ワールドカップ競技会の規準	0.4

第2章 専門用語

0.5-9

第3章 組織と管理の責任機関

組織委員会	0.10
F I E本部局	0.11
F I Eのコントロール	0.12
F I Eの技術派遣委員	0.13
F I EのD T	0.14 -17
審判、S E M I、医事派遣委員の指名	0.18
S E M I 委員会代表派遣委員	0.19
審判委員会代表派遣委員	0.20
医事委員会派遣委員	0.21
スーパーバイザー	0.22 - 23
審判業務	0.24 - 26
専門職員	0.27
器具の検査	0.28

第4章 参加者の年齢

0.29 - 30

第5章 財政的処罰と罰金

0.31

B : 競技会の手順

第1章 プログラム

競技会のプログラム	0.32
タイムテーブル	0.33 - 35
シニア世界選手権大会	0.36
ジュニア/カデ世界選手権大会	0.37 - 38
グランプリ、シニアとジュニアのワールドカップ、サテライト ...	0.40 - 41
大陸別選手権大会	0.42

オリンピック大会.....	o.43
地域大会	o.44 - 45
第2章 招待	
公式招待状	o.46 - 47
シニア、ジュニア世界選手権大会	o.48 - 50
グランプリ、シニア、ジュニアの世界カップ、サテライト.....	o.51
大陸別選手権大会	o.52
オリンピック大会	o.53
地域大会	o.54
第3章 エントリー	
シニアとジュニアの世界選手権大会、大陸別選手権大会	o.55 - 60
グランプリ、シニアとジュニアの世界カップ、サテライト競技会...	o.61 - 62
オリンピック大会	o.64
地域大会	o.65
C： 競技会中の手順	
第1章 方式	
個人戦	o.66
A プール戦に関する一般規則	o.67 - 75
B エリミネーション・ディレクトに関する一般規則	o.76 - 82
C 方式A：シニア世界選手権大会、 シニアワールドカップとグランプリ	o.83 - 88
D 方式B：.....	o.89 - 94
E 方式C：オリンピック大会、地域大会	o.95 - 96
団体戦	
A シニア、ジュニア世界選手権大会、大陸別選手権大会	o.97 - 99
B シニア、ジュニアワールドカップ団体戦	o.100 - 102
C オリンピック大会	o.104
第2章 ビデオ審判	o.105
第3章 アンチドーピング	o.106 - 107

D： 競技会後の手順

第1章 ランキング

公式F I E個人ランキング o.108

公式F I E団体ランキング o.109

第2章 グランプリ o.110

E： ベテラン

ベテラン大会組織委員会 o.111

ベテラン大会審判・SEMI・医事代表の指名 o.112

審判 o.113

参加者の年齢 o.114

世界ベテラン選手権 o.115

招待状 o.116

エントリー

世界ベテラン選手権

大会への登録 o.117

ベテラン個人選手権のプール構成 o.118

ベテラン団体選手権 o.119

第2編 組織規定

A : 競技会の共通規則

第1章 序文

適用

o.1 F I Eの公式競技会は、下記の規則に則って組織される。

o.2

- 1 F I Eの公式競技会は、全てのF I E加盟国の選手達（個人あるいは団体）に開放されている。
- 2 競技会の出場選手や指名されたオフィシャルは、現行シーズンに有効な国際ライセンスの保持者であることを義務付けられている（定款第9章参照）。

競技会の種類

o.3 これらの規則は、F I Eの公式競技会に関する変更を伴わずに義務付けられている：

即ち：

- －オリンピック大会のフェンシング種目
- －世界選手権大会、全カテゴリー
- －グランプリ
- －ワールドカップ競技会、ジュニアとシニア
- －大陸別の選手権大会、ジュニアとシニア
- －サテライト競技会

ワールドカップ競技会の規準

資格

o.4 競技会は、下記の規準を満たす場合にだけワールドカップ競技会として格付けされて維持される。

- 1 参加は、下記の選手を含まなければならない：
 - ・ ヨーロッパでのシニア競技会に関しては、最低8カ国からの選手
 - ・ ヨーロッパ以外でのシニア競技会に関しては、最低5カ国からの選手
 - ・ ジュニア競技会に関しては、最低5カ国からの選手
- 2 参加は、ヨーロッパでのシニア競技会に関しては、最低5カ国を代表しており、F I Eの公式ランキングの上位32位までに記載されている選手を最低限度10名を含まなければならない（ヨーロッパ以外での競技会に関する必要条件は無い）。
- 3 競技会は、異なる国籍の最低4名のF I EのA級あるいはB級の審判員が参加していなければならない。
- 4 F I Eの競技規則は、ワールドカップ競技会の規定と同様に忠実に適用されなければならない。組織者は、プロトタイプがS E M I委員会から認可されている自動審判装置を使用しなければならない。

- 5 決勝戦は、大衆用のスペースがある会場で行われなければならない。
- 6 2シリーズ以内のプール戦で第1ラウンドを行う事が出来る十分な数のピストが存在していなければならない。
- 7 決勝戦中、組織者は、選手の名前と国籍を表示した掲示板をピストに設置しなければならない。
- 8 表彰式では、F I Eの儀典規則が適用されなければならない（F I E管理規則参照）。
- 9 競技会中、終始、競技会の現場に医師が臨席していなければならない。
- 10 F I Eの規則に則った反ドーピング検査が行われなければならない（条項 o.107とF I Eドーピング防止規則参照）。

第2章 専門用語

アソー (assaut) とマッチ (match)

- o.5** 2選手間の友好的対戦を「アソー」と呼ぶ。対戦結果を決定付けるために得点記録をとる場合は、「マッチ」と呼ぶ。

ランコントル (rencontre)

- o.6** 異なるチームの選手間の対戦（チーム・マッチ）を「ランコントル」と呼ぶ。

競技会(Epreuve)

- 1 競技会 は、マッチ（個人戦）またはランコントル（団体戦）の集合体で勝者の決定が義務付けられている。
- 2 競技会は、種目、性別、年齢、個人戦か団体戦かにより区別される。

トーナメント (tournoi)

- o.8** トーナメントは、同じ場所で同じ期間で開催される多くの競技会、個人戦と団体戦、に与えられる名称である。

選手権大会 (シャンプイオナ Championnat)

- o.9** シャンプイオナ（=チャンピオンシップ）は、各国、特定地域、または、世界、及び特定期間における各種目の最優秀選手または最優秀チームを決定するために開催される競技会に対して与えられる名称である。

第3章 組織と管理の責任機関

o.10 組織委員会

- 1 組織委員会は、競技会の組織に責任がある人々の団体である。
- 2 組織委員会は、各競技会に特有の規定（‘Cahier des Charges’ ハンドブック）の指示に注意しなければならない。
- 3 できる限り、組織委員会において男女両性が代表しなければならない。

F I E本局

- o.11** F I Eの本部は、条項 o.12に規定されているように、オリンピック大会、世界選手権大会、ジュニアとカデとベテランの世界選手大会におけるディレクターワール・テクニク（D T）の活動を統制する。

F I Eのスーパーバイザー

o.12

- 1 世界選手権大会とオリンピック大会で規則が守られることを確実にするために、F I Eの 会長と本部局メンバーは、D TとF I Eの公式代表者達の全会議に出席する権利を有している。D Tは、彼等にそのような会議の通知をしなければならない。
- 2 世界選手権大会で発生する規律に関するもの以外のいかなる論争をも解決する事は、F I E本部局やその指定代表者の責務である。懲戒処分に関しては t.143.4とt.175.2を参照。

F I Eの技術派遣委員

o.13

- 1 地域大会に関するオリンピック規則に則ってF I Eを代表するF I E技術派遣委員は、認知された技術的能力の基準に従って、理事会との相談後にF I E会長によって選出されることとする。
- 2 この派遣団の経費（ツーリスト・クラスの航空運賃、ホテル代と食費）は、組織委員会によって支払われることとする。

ディレクターワール・テクニク（Directoire Technique=D T）

- o.14** 競技会の技術的組織は、D Tに委ねられている。D Tの活動の機能と範囲は、競技規則（t.139-141, o.15 - o.17 参照）に規定されている。

F I E公式競技会のD TとF I E代表者

o.15

- 1 その他のF I Eの専門的代表者の責務である特定権限範囲は別として、公式F I E競技会の技術的運営はD Tに委ねられている。
- 2 D Tメンバーと他のF I Eの公式代表者は、競技会でチームキャプテン、彼等のNFの公式代表者、審判員、競技者、等のような役割を果たす事は出来ない。
- 3 D TとF I Eの公式代表者は、発生するかもしれない問題を解決して大会が順調な運行を継続することを確実にするために、最初から終わりまで常に大会に出席していなければならない。
- 4 D TとF I Eの公式代表者の全ての決定は、選手とオフィシャルが参考出来る明白に目立つ掲示板に事前に十分に余裕をもって表示されていなければならない。原則として、選手とオフィシャルは、彼等の団長やキャプテンによって通知を受けていなければならない、時間表の変更に対してまたは規定期限内にどの情報が表示されたかに関する他の問題に対しても苦情を申し立てる事はできない。

5 個人戦、あるいは団体戦の前日に D T は登録者名簿のファイルのダウンロードを行わなければならない。試合の前日現地時間 12 時から F I E 公式ホームページから行う。

個人戦において DT は FI に対してプールのグループとタイムテーブル、そしてシニアの場合は予選免除者を、遅くとも現地時間 16 時までに送らなければならない。同じ時刻に始まるプールからの選手でない限り、すでに公表されたプールに追加することはできない。

団体戦においては、DT は FIE に対して個人戦の準々決勝の終了の後、遅くとも 1 時間後に組み合わせ表とタイムテーブルを送らなければならない。既に公表されたリストに対してどのような付け加えもできない。

DT の任命

o.16 DT は競技会を組織する経験と能力のある人々から成る。

- 1 世界選手権大会 とオリンピック大会：
 - a) オリンピック大会では DT は、異なる国籍の 6 人の構成で、うち 1 人は組織国を代表していなければならない。少なくとも各性別 1 名を有しておく必要がある。
 - b) 世界選手権大会では DT は、異なる国籍の 8 人の構成で、うち 1 人は組織国を代表していなければならない。少なくとも各性別 2 名を有しておく必要がある。
 - c) DT (委員長と他のメンバー、うち 1 人はプロトコール担当) は、F I E 理事会によって任命される。
- 2 ワールドカップとグランプリ競技会
DT は組織国からの 3 名または組織国から招かれた 3 名の有資格者から成る。
少なくとも各性別 1 名を有しておく必要がある。

DT の職務

o.17

- 1 DT の職務は、F I E の他の代表者の責務を除いて (o.12, o.19, o.20, o.21, o.22 参照)、種々の種目的確な組織を含む。DT は、競技規則を確実に厳守する責任があり、競技規則の適用が絶対に不可能である状況が発生する場合を除いて、DT 自身が競技規則から逸脱した決定を行う事は出来ない。
- 2 DT は、競技会を技術的な観点から組織し、競技会の順調な進行を監督する責任がある。
- 3 したがって：
 - a) 組織委員会と DT と F I E の公式代表者と F I E の他の職務との間の調整を確実に行う。
 - b) エントリー (参加申込) を点検する。
 - c) プール・シートとエリミナション・ディレクト表を作成する。
 - d) ピストを配置する。
 - e) 大会の進行を監督する。
 - f) 組織委員会の助けを得て競技結果を点検する。
 - g) 選手や役員や審判員に事前に予告し、後続の試合に対して準備を行う。
 - h) 競技結果の配布を監督する。

- 4 さらに、DTは、競技会で懲戒機関としての責任を有するが、集団としての責任を負っている。DT内での審議が同数票の場合は、DT委員長の票が決め手となる。

審判とSEMIと医事の代表者の任命

o.18

審判代表者は、FIE審判委員会のメンバーでなければならない。
SEMI代表者は、FIE-SEMI委員会のメンバーでなければならない。
医事代表者はFIEの医事委員会のメンバーでなければならない。

全ての代表者の指名を考慮した場合（シーズン中のあらゆる種類の競技会、およびすべての種目において）、代表の空き状況や大陸代表の都合が許せば、男女とも最低20%の代表が必要である。

世界選手権においては、代表の空き状況と大陸代表の都合が許せば、審判委員会、SEMI委員会、および医事委員会それぞれの委員会において男女それぞれ少なくとも1人の代表が存在する必要がある。

- 1 世界選手権大会
審判委員会委員長と5名の審判代表者、SEMI委員会委員長と2名のSEMI代表者、3名の医事委員会代表者は、それぞれの委員会の提案によってFIE理事会により任命される。
- 2 グランプリ
審判代表者2名は、審判委員会の提案によって理事会により任命される。
- 3 シニアのワールドカップ
審判代表者1名は、審判委員会の提案によって理事会により任命される。

o.19 SEMI代表者

- 1 SEMI代表者の職務は、種々の装置の技術的な装備とホモロゲーションの検査である。
- 2 SEMI代表者は、選手の器具の検査を組織して効率的な機能を確実にする。
- 3 SEMI代表者は、規則が遵守され、規則の適用が絶対に不可能な場合を除いて規則から逸脱することを自ら決定出来ない。
- 4 SEMI代表者は、試合中の用具に関する問題について審判員を補助する。

o.20 審判代表者

- 1 審判代表者の職務は、完璧な運営を確実にして、大会の審判の厳密で完璧な組織を含む。彼等は、規則が遵守されていることを確実にする義務があり、競技規則の適用が絶対に不可能である状況が発生する場合を除いて、彼等自身が競技規則から離脱した決定を行う事は出来ない。
- 2 したがって、
 - a) 大会の前日に審判員会議を組織する
 - b) 各競技会の前日に審判員リストを確立する

- c) 条項 t.50ss に規定されているように業務中の審判員を観察し選択を行う。
 - d) 抗議を再審して条項 t.171 に規定されているように解決策を提供する。
- 3 F I E 競技会中の（世界選手権大会とオリンピック大会を含む）規則に関連した疑問に関しては、審判委員会代表者自身は、試合の初めから終わりまで主審の判定を判断する能力がある。
- 4 さらに、審判代表者は、競技会で規律上の責務を有している存在であり、条項 t.139ss はその権限の範囲を規定している。

o.21 医事代表者の任務

- 1 医事代表者の職務は、医療面の厳密で完璧な組織を含む。彼等は規則が遵守されていることを確実にする義務があり、競技規則の適用が絶対に不可能である状況が発生する場合を除いて、彼等自身が競技規則から逸脱した決定を行う事は出来ない。
- 2 したがって、医事代表者は：
- a) 医療サービスを確認してその作業を監督する
 - b) ドーピング防止検査を監督する
 - c) 医療状況を評価して t.45 にしたがって負傷や痙攣の治療を監督する

o.22 スーパーバイザー

- 1 グランプリとワールドカップ大会の組織者は、個人団体共、競技会が適性にワールドカップの基準にかなっていることを確認する業務を行う組織国以外の国からの F I E のスーパーバイザーの出席を確保しなければならない。
- 2 スーパーバイザーは、F I E 本部局の提案で F I E の理事会によって任命される。
- 3 審判委員会代表者や S E M I 委員会代表者や医事委員会代表者がいない競技会では、スーパーバイザーがそれぞれの職務を満たす。
- 4 スーパーバイザーは、ワールドカップとグランプリの競技会で発生するその他の論争を全て解決する。
- 5 スーパーバイザーの旅費、食費、宿泊費については、F I E の理事会によって適宜定められる最新基準に従って、組織者が負担する。

o.23 このスーパーバイザーは、下記のいずれかである：

- － F I E 委員会のメンバー
- － F I E 理事会のメンバー
- － 理事会によって指名され、対応可能かつ競技会組織の経験のあるグループのメンバー

o.24 審判員

- 1 世界選手権大会での審判は、審判委員会の提案で F I E の理事会によって選ばれた審判員によって行われる。

- 2 審判員の旅費、食費、宿泊費は、組織委員会によって支払われ、引き換えに組織委員会は全エントリー料を受け取る。
- 3 審判員は、世界選手権大会の前日に行われる審判会議に必ず出席しなければならない。

o.25

- 1 ジュニアのワールドカップ競技会とサテライト競技会に参加するチームに同行しなければならないF I EのA級あるいはB級の審判員の人数は：

選手1名～4名 審判員提供義務なし

選手5名～9名 審判員1名

選手10名以上 審判員2名

1ジュニアチーム 審判員1名

ジュニアのワールドカップ競技会とサテライト競技会では、エントリーを行った競技会の種目でF I Eカテゴリーを所有していなければならない審判員の名前は、競技会の7日前（ローザンヌ時間の午前0時）までにF I Eウェブサイトを通して発表されなければならない。これらの審判は、登録されている協議会の種目においてF I Eのカテゴリーを持っていないといけない。

- 2 NFが義務付けられた人数の審判員を帯同しない場合は、罰金（o.31 財政的処罰と罰金の表参照）が科されることとする。

- 3 くわえてジュニアワールドカップのF I EのスーパーバイザーはF I Eのスーパーバイザーの報告書に記載されている審判員の性別の多様性について報告する必要がある。

o.26

- 1 シニアのワールドカップ、グランプリ、ワールドカップ団体戦に関しては、審判委員会によって提案される審判員8名は理事会によって任命され、各国選手団は審判員を帯同させる必要はない。

必要な追加審判員（少なくとも5名）は組織委員会によって提供される。組織者は、これらの審判員の経費を負担し、引き換えにエントリー料を受け取る。

専門職員

- o.27** 組織委員会は下記を任命しなければならない：

- 1 記録係と計時係

組織者は、組織者自身の責任において、マッチやプールやランコントロールの得点用紙に記入し、スコア・ボード（得点掲示板）を維持する職務の記録係及び試合中の時間（t.37ss 参照）を計時する職務の計時係を任命することとする。

決勝戦では、DTは、計時係と記録係と得点記録装置担当者を監督するために出来る限り中立の代表者または審判員を任命することとする。

- 2 器具管理係

組織委員会は、器具が出すシグナルに留意する有資格者を任命する事とし、器具の記録に関して主審に助言したり、試合の途中であっても、発生する異常な現象に関して警告したりできるようにしなければならない。

- 3 エキスパート
 - a) 各トーナメントに、組織委員会は、電気機器に関連した事項の専門家を任命しなければならない。これらの専門家達は、DTの監督下に配置される。
 - b) 専門家達は、電気機器に関連した全ての問題について、別々にまたは連帯で、審判員やDTの相談に応ずることとする。
 - c) F I Eの電気機器及び用具（SEMI）委員会メンバーは、エキスパートとして行動する職務上の資格を有する。
- 4 修理係
各トーナメントに、組織委員会は、電気機器の故障や可能ならば選手個人の電気装具の故障を修理できる有能な修理係を待機させなければならない。

器具検査係

- o.28** 組織者の器具類や選手の用具の点検は、組織委員会によって指名された資格のある係によって用具規定に則って実行されなければならない。SEMI委員会の指名されたメンバーが出席している場合、点検は彼等によってまたは彼等の管理下で実行されなければならない。

第4章 参加者の年齢

- o.29**
- 1 選手は、13才に達するまでF I Eの公式大会に参加できるF I Eライセンスを取得できない。
 - 2 全ての公式F I Eカデ競技会に参加する選手は、競技会が行われる年の前年の12月31日の深夜に17才以下でなければならない。
 - 3 全ての公式F I Eジュニア競技会の個人戦や団体戦に参加する選手は、競技会が行われる年の前年の12月31日の深夜に20才以下でなければならない（o.30参照）。

現行シーズンの世界ジュニア選手権を含む、現行シーズンの公式競技会に参加するためには、フェンサーは、現行シーズンの12月31日午前0時に20歳以下でなければならない。

・2024-2025年シーズンより適用

- 4 上記の規定の他に、ベテラン・カテゴリーを除いて、その他のF I Eの公式大会に参加する選手の上限年齢は存在しない。
- 5 F I Eの公式競技会が開催される国で未成年である全てのF I E公式競技会の参加者は、下記のいずれかでなければならない：
 - a) 参加者の親や後見人のいずれか、あるいは競技会のある国で、健康に関連した問題に関して参加者の親や後見人から有効な証明書をもって委任された人物が同伴すること；または、

- b) 成年に達しており、競技会中に競技会場において上述の法的権限に正確に述べられている責務を受け入れることに同意した人物によって交付された委任状を持つ人物が同伴すること。

o.30 次回の世界ジュニア選手権大会に参加資格を有する年齢の選手だけが現行シーズンの公式F I Eジュニア競技会の個人戦または団体戦で試合できる。

第5章 財政的処罰と罰金

o.31 財政的処罰と罰金の表

	条項	金額	支払日	支払先	支払者
世界選手権大会への締切日以後のエントリー	o.56	各エントリー150ユーロ	エントリー日	F I E	NF
他の F I E 競技会への締切日以後のエントリー、競技会前の火曜日迄	o.61.4 a)	各エントリー150ユーロ	エントリー日	F I E	NF
締切り後の他の F I E 競技会へのエントリー、競技会前の水曜日から前日の（現地時間）午前12時まで	o.61.4 b)	各エントリー250ユーロ	エントリー日	F I E	NF
正式にエントリーを行った選手やチームが現れない場合	o.85.4, o.87.3, o.61.5	500 ユーロ（各選手または各チーム）	罰金通告受取日	F I E	NF
適切にエントリーを行わなかった選手やチームの参加、または現行シーズンの有効ライセンスを所持していない	o.61.6	1000 ユーロ（各不適切参加）	罰金通告受取日	F I E	組織
審判員の義務付けられた人数が守られない	o.25.1.b	1000 ユーロ（各審判員）	組織者への情報送付と同時	組織者	NF
招待状送付締切日を守らない	o.51	1000 ユーロ	罰金通告受取日	F I E	NF
大陸別選手権大会の招待状送付の締切日を守らない	o.51	500 ユーロ	罰金通告受取日	F I E	NF

B： 競技会の前の手順

第1章 プログラム

o.32 競技会のプログラム

組織委員会は、認可をうけるために理事会に大会のプログラムを提出しなければならない。

o.33 タイムテーブル

- 1 プログラムは、掲示され、伝達され、遵守され、選手の勝負間の休憩に必要な時間が考慮に入れられていなければならない。それは、選手が 24 時間のうち 12 時間以上試合に参加することを絶対に義務付けないように計画されなければならない。いかなる場合も、プールやマッチやランコントロールは、真夜中過ぎに開始して

はならず、また、真夜中過ぎに終了する見込みが予測されるような時間に開始してはならない。

- 2 どのようなプログラムを採用しても、決勝戦は、地元の慣例を考慮して、報道機関が結果を公表する時間が充分あるように、結果連絡が確実に行われる時間に開始されなければならない。

o.34 プログラムに、組織者は、選手の用具検査を行える十分な時間、即ち、種目毎に最低限 1 日を、割り当てなければならない。

o.35 世界選手権大会とオリンピック大会を含めて、全ての個人戦と団体戦の第 1 回戦は、試合前日の少なくとも現地時間の 16 時までに表示されなければならない (t.175 参照)。

o.36 シニア世界選手権大会

シニア世界選手権大会のプログラムは、12 種目、個人 6 種目と団体 6 種目—男子フルーレ、女子フルーレ、男子エペ、女子エペ、男子サーブル、女子サーブル、によって構成される。

ジュニアとカデの世界選手権大会

o.37 ジュニアとカデの世界選手権大会のプログラムは、個人 12 種目（ジュニア 6 種目とカデ 6 種目）およびジュニア団体 6 種目—男子フルーレ、女子フルーレ、男子エペ、女子エペ、男子サーブル、女子サーブル、で構成される。カデ種目で開始して、後にジュニア個人種目が続き、最後にジュニア団体種目となる。

o.38 カデ世界選手権大会のプール戦の編成時に、DT はランキングを考慮しなければならない：

1. 前年度の世界カデ選手権大会の上位 8 位までの選手
2. 現行シーズンの公式 F I E ジュニア・ランキングで上位 64 位までの選手
3. 前年度の世界カデ選手権大会で 9 位～32 位を占めた選手
4. 現行シーズンの公式 F I E ジュニア・ランキングで 65 位以降を占めた選手
5. 各国 NF が提供したシード
6. DT の決定

o.39 ...

o.40 ...

o.41 団体ワールドカップ競技会

1 適用

ジュニアとシニアの団体ワールドカップ競技会は、男子と女子の両方共 3 種目で行われる。

2 原則

- a) シニア団体ワールドカップトーナメントは、出来れば、全ての大陸で組織される最大限 5 つの合成競技会で構成される（1 位の順位まで）。ポイントは各競技会の終わりで配付されることとする。
ジュニア団体ワールドカップトーナメントは、4 つの合成競技会で構成されて、ポイントは各競技会の終わりで配布されることとする。
 - b) チームは補欠の有無に関わらず 3 名の選手で編成される。
 - c) 試合は、競技規則の条項 o.99 に規定されているように、チーム・リレー方式で行われる。
- 3 参加チームの参加は、各国に解放されているが 1 国各種目 1 チームに制限されている。

o.42 大陸別選手権大会

- 1 F I E が認めている大陸別選手権大会は、シニアの大陸別選手権大会とジュニアの選手権大会である。他の競技会は、大陸別の連合によって組織される事が出来る（ベテラン、U23、カデ・サーキット等）。
- 2 シニアの大陸別選手権大会のプログラムは、12 種目で、個人 6 種目と団体 6 種目、男子フルーレ、女子フルーレ、男子エペ、女子エペ、男子サーブル、女子サーブルである。
- 3 ジュニアの大陸別選手権大会のプログラムは、個人 6 種目と団体 6 種目、男子フルーレ、女子フルーレ、男子エペ、女子エペ、男子サーブル、女子サーブルである。
- 4 競技会申込書は、管理規則（条項 9.4.3 参照）と次の条項 o.100、o.101、o.102（102.1 の第 1 文と 102.2）に規定されている。
- 5 シニアとジュニアの大陸別選手権大会では、各種目で、各国は 4 名までの選手をエントリー出来る。シニアとジュニアの大陸別選手権大会の団体戦では、各種目で、各国は 1 チーム（補欠の有無に関わらず 3 名の選手で編成）のエントリーが出来る。

o.43 オリンピック大会

オリンピック大会のフェンシング種目のプログラムは、現在 12 種目である。種目数の変更は kongress に よって 認可 され なければ ならない。

o.44 地域大会

- 1 F I E の公認地域大会は、フェンシングが競技プログラムにある国際オリンピック委員会によって公認された大会（例えば、地中海大会、パン・アメリカン大会、セントラル・アメリカン及びカリビアン大会、アジア大会等）およびコモンウェルス・ゲームと同じである。
- 2 F I E の競技規則は、国際オリンピック委員会採用の地域大会用規則が規定されていない場合に義務付けられている。

o.45 サテライト競技会

サテライト競技会は、6種目のどれでも組織できる。
いかなる最低限の参加基準も存在しない。

第2章 招待

公式招待状

o.46 オリンピック大会を除く全てのF I Eの公式競技会に関しては、公式招待状は、組織国NFがF I Eの各加盟NFに選手権大会に参加するように求める手紙である。

o.47 世界選手権大会に関しては、この招待状は、例外なく、競技会の少なくとも4ヶ月前に全ての加盟NFに送付されなければならない。

国際役員の招待

o.48 世界選手権大会

- 1 シニア、ジュニア、カデの世界選手権大会を開催するための立候補の申請は、立候補したNFの招待で、理事会が任命する特別代表団によって開催地で検討されなければならない。
- 2 参加選手団からエントリー料全額を受け取る予定の世界選手権大会組織委員会
は、組織者の経費負担で、下記の国際役員を招待しなければならない（エコノミ
ー・クラスの往復航空運賃、宿泊費、日当）：
 - a) 世界選手権大会を統括し、特に、DTの潤滑な運行を管理するF I E会長あ
るいは会長代理
 - b) F I Eの理事会に指名された8名のDTメンバー、うち1名は組織国に所属
し、うち1名は儀典長
 - c) F I E理事会に任命された3名のSEMI委員会メンバー
 - d) F I E理事会に任命された6名の審判委員会メンバー、そのうちの1名は主
任を指名される
 - e) F I E理事会に任命された3名の医事委員会メンバー
 - f) 規則のハンドブックに従って審判委員会の提案でF I E理事会に指名された
審判員

o.49 ...

o.50

グランプリ、シニアとジュニアのワールドカップ、サテライト競技会 公式招待状

o.51 ワールドカップ競技会とグランプリに関しては、招待状は当該の競技会の少なく
とも2ヶ月前に送付されなければならない。
組織NFが上記の期日を守らない場合は、F I Eに支払う1000€に達する罰金で
制裁処分を受ける。

o.52 大陸別選手権大会

大陸別選手権大会では、招待状は少なくとも競技会の3ヶ月前に送付されなければならない。もし組織NFが上記の締切日を守らない場合は、FIEに支払わなければならない500ユーロの罰金の制裁を受ける。

o.53 オリンピック大会

オリンピック大会の招待状と参加に関する規則は、IOCによって確立されている。

地域大会

o.54 競技役員と審判員

地域大会に関するオリンピック規則は、審判員と役員の任命を含めて、大会の全ての技術的組織の管理がFIEに委ねられなければならないことを規定している。組織委員会は、下記の役員の経費（エコノミー・クラスの航空運賃、ホテル代と食費）を支払わなければならない：

- 1 **DT**：もしDTが3名のメンバーの場合は2名の外国人メンバー、6名のメンバーの場合は5名の外国人メンバーである。DTは、FIEの理事会によって任命される。
- 2 **用具検査**：大会でのフェンシング種目の重要性しだいで、FIEのSEMI委員会の代表者が1名か2名。代表者は、FIEの理事会によって任命される。
- 3 **審判代表者**：FIEの理事会によって任命されるFIEの審判委員会の代表者1名。
- 4 **中立の審判員**：審判委員会の提案でFIEの理事会によって任命される大会地域以外の国々からの少なくとも2名の国際審判員。

第3章 エントリー

シニアとジュニアの世界選手権大会、大陸別選手権大会

o.55 世界選手権大会参加の意向

各種用紙が公式招待状送付と同時に全NFに送付されなければならない。諸NFは、選手権大会開始の3ヶ月前に参加の意向を表明しなければならない。

o.56 世界選手権大会（全カテゴリー）およびシニアとジュニアの大陸別選手権大会

- 1 世界選手権大会開始の3ヶ月前に、諸NFは、組織委員会からエントリー用紙を受け取り、大会開始2ヶ月前に選手権大会の各種目に参加する選手数とチーム数をその用紙に明記しなければならないこととする。
- 2 選手とチームの記名エントリーは、FIEウェブサイトで行われなければならない。この選手と可能性のある補欠の名前のエントリー及びチームのエントリーは：
 - 遅くとも世界選手権大会の最初の種目の開始の15日前（ローザンヌ時間深夜まで）に行われなければならない。
 - 遅くとも大陸別選手権大会の最初の種目開始の7日前（ローザンヌ時間深夜まで）に行われなければならない。

3 選手やチームの取消

エントリー締切日後は、十分に正当であると認められた不可抗力の場合を除いて、名前の取消は絶対に出来ない。エントリーを行った選手またはチームが試合に現れない場合には、正式に証明された不可抗力の場合を除いて、所属NFはF I Eに支払わなければならない罰金（o.31、財政的処罰と罰金の表参照）を伴って処罰される。

4 締切日以後の選手の付加

しかしながら、競技会の前日の午前10時（世界選手権大会や大陸別選手権大会の開催地の現地時間）まで、各追加選手のエントリーにつき罰金（o.31、財政的処罰と罰金の表参照）をF I Eに支払後に、1人またはそれ以上の選手を付加できる。これを行うにはNFは、罰金の即時支払と共に選手を付加する申請をF I Eに行わなければならない。

5 名前の変更は、F I Eの同意を伴う場合にだけ、各種目の開始の遅くとも24時間前までにだけ行うことができる。

o.57 シニア世界選手権大会では、エントリーは、個人種目では各種目につき各国毎に4人の選手、団体種目では各種目につき各国1チームに制限されている。

o.58 ジュニアとカデの世界選手権大会は、F I Eに所属する全てのNFが参加可能である。

o.59 カデ世界選手権大会では、エントリーは、個人種目の各につき各国毎に3人の選手に制限されている。

ジュニア世界選手権大会では、個人種目で各種目につき各国毎に4人の選手、団体種目で各種目につき各国1チームに制限されている。

o.60 大陸別選手権大会

ジュニアとシニアの大陸別選手権大会の個人種目に関して、各NFは各種目につき選手4人迄をエントリー出来る。

ジュニアとシニアの大陸別選手権大会の団体種目に関して、各NFは各種目につき1チーム（補欠の有無にかかわらず選手3名の編成）をエントリー出来る。

o.61 グランプリ、シニアとジュニアのワールドカップ、サテライト競技会

1 選手と出場の可能性のある補欠選手の名前のエントリーとチームのエントリーは、F I Eのウェブサイト遅くとも競技会の7日前（ローザンヌ時間午前0時まで）に行われなければならない。チームのエントリーに関しては、チームを編成している選手の名前は競技会の前日、遅くとも個人戦の準々決勝戦の終了時まで組織者に通告することによって変更できる。しかしながら、競技会の医師によって正式に証明された負傷や病気の場合には、この段階の後、遅くとも個人種目の終わりまでに、変更を行うことができる。

2 選手やチームの取消

エントリーの締切日以後、負傷や不可抗力の理由を除いて、指定選手やチームは絶対に取消しできない。NFはF I Eと組織者に通告しなければならない。

3 選手の交代

競技会前の水曜日（ローザンヌ時間午前 0 時）まで選手は他と交代できる。これを行うには NF はファックスかEメールなどの文書でF I Eに選手交代の申請書を送付しなければならない。

4 締切以後の選手やチームの追加

a) しかしながら、競技会前の火曜日（ローザンヌ時間午前 0 時）までに、各追加エントリーに対して罰金（o.31、財政的処罰と罰金の表参照）をF I Eに支払後に、NFは 1 人またはそれ以上の選手またはチームを追加できる。これを行うには、NFは、罰金を 15 日以内に支払う誓約書と追加選手及び/またはチームの申請書をF I Eに（ファックスやEメールで）送付しなければならない。

b) 競技会前の水曜日から競技会の前日の正午（現地時間）までに、NFによって各追加選手のためにさらに高い罰金（o.31、財政的処罰と罰金の表参照）をF I Eに支払い後に 1 人またはそれ以上の選手および/またはチームを付加できる。これを行うには、NFは、罰金を 15 日以内に支払う誓約書と追加選手及び/またはチームの申請書をF I Eに（ファックスやEメールで）送付しなければならない

5 出場申し込みをした選手またはチームが試合に現れない場合には、正式に証明された不可抗力の場合を除いて、そのNFはF I Eに支払わなければならない罰金（o.31、財政的処罰と罰金の表参照）を伴って処罰されることとする。

6 全ての公式競技会の組織者は、F I Eに支払わなければならない罰金（o.31、財政的処罰と罰金の表参照）の危険を承知で、上記に適合するリストに記載されていない選手のエントリーや所属NFから申請されていないエントリーや現行シーズンに有効なF I Eライセンスを所有していない選手並びに審判員のエントリーを拒否しなければならない。

o.62

- 1 グランプリ競技会と個人ワールドカップ競技会に関しては、シニアとジュニア共、各種目で、各NFは最大限度 12 名の選手をエントリーできる。組織国（ヨーロッパでの競技会）は 20 人までの選手、プラス、プールの編成に必要な人数をエントリー出来る。
- 2 ヨーロッパ以外の個人ワールドカップ競技会に関しては、組織国は 30 人までの選手、プラス、プールの編成に必要な人数をエントリー出来る。

o.63

o.64 オリンピック大会

エントリー用紙は、選手の所属するNFによって（オリンピック大会ではナショナル・オリンピック委員会によって）組織者に送付されなければならない。

o.65 ...

C: 競技会中の手続き

第1章 方式

o.66 個人戦

個人戦は、下記のように組織出来る：

- a) 混合方式を伴うエリミナション・ディレクトによる。
1回の予選プールとエリミナション・ディレクト表の予選を行ない、続いて、64の選手の正式なエリミナション・ディレクト表によりエリミナション・ディレクト決勝出場資格選手8人か4人を限定する。
- b) 混合方式を伴うエリミナション・ディレクトによる。
1回の予選プールに続いてエリミナション・ディレクト決勝資格選手8人か4人を限定するエリミナション・ディレクト表の試合を行なう。
- c) 終始エリミナション・ディレクトによる。(オリンピック大会に適用できるこのタブローは、巻末の付録に含まれている)。

A. プール戦に関する一般規則

o.67

- 1 プール戦を含む方式の全競技会では、参加選手数が7で割り切れる場合、各プールは、7人の選手で構成される。そうでない場合、プール戦は7人と6人の選手の構成である。6名以下の選手のプール戦は絶対に存在しない。
しかしながら、1人またはそれ以上の選手の欠如のために1つまたはそれ以上のプールが5名またはそれ以下の選手に減少される場合、組織者は、置き換えられる選手の当初のランキングを考慮に入れて、同じラウンドの7名のプールから1名の選手をこれらの各プールに付加しなければならない。
- 2 ワールドカップとグランプリの競技会では、組織国は、全プール戦が7人の選手で構成されるように必要な数の自国選手を付加出来る。

o.68 プール戦の構成

- 1 プール戦の構成は、最新のF I E公式ランキングの更新に基づく初期ランキングを考慮し、ランキング外の選手については、抽選によって決定される。プール戦は下記の方法を使用して構成される：

Pool	A	B	C
ランク付け選手	1	2	3
	6	5	4
	7	8	9
	12	11	10
	13	14	15
	18	17	16
	19	20	21

- 2 プール戦における選手の配置は、できる限り、同じ国籍の選手をそれぞれ異なるプールに配置するように行なわれなければならない。もし選手が既に同じ国籍の

選手がいるプールに配置される場合、その選手は同じ国籍の選手がいないプールに配置される迄下のランキングに移動される。もしこれが不可能な場合は、其の選手は当初のプールに留まらなければならない。

- 3 プール表（プール・シート）の選手の順番は、抽選で決定される。
- 4 プール戦は、最後の勝負まで戦われなければならない。

o.69 プール戦の試合の順番は、下記のとおりである：

1. 選手7名のプール			2. 選手6名のプール		
1-4	5-1	3-5	1-2	5-4	6-4
2-5	4-3	1-6	4-3	1-6	2-3
3-6	6-2	2-4	6-5	3-5	1-4
7-1	5-7	7-3	3-1	4-2	5-2
5-4	3-1	6-5	2-6	5-1	3-6
2-3	4-6	1-2			
6-7	7-2	4-7			

o.70 プールに同じ国籍の選手が数人いる場合：

- 1 もし同じ国籍の選手が、プール選手の過半数にならないければ、他国籍の選手と対戦する前に対戦しなければならない。
- 2 もし同じ国籍の選手がプールで選手の過半数になる場合は、DTは、できる限り下記の3.a)に定められた原則から逸脱せず、プール内の他の国籍の選手の過度の疲労や遅延を未然に防ぐために試合の特別な順序を設定出来る。
- 3 6人のプールにいる同国籍の選手達の順番の例：
 - a) プールの6人の選手の中に、
 - －同じA国籍の選手が2人、または、
 - －同じA国籍の選手が2人と同じB国籍の選手が2人、
 - －A国籍の選手が2人とB国籍の選手が2人とC国籍の選手が2人が含まれている場合、最初に同じ国籍の選手同士が対戦するように、上記の条項o.69に表示されている6人の選手のプールの対戦順序で選手の名前がプール用紙に配置される。
 - b) プールの6人の選手の中に、
 - －A国籍の選手が3人、または、
 - －A国籍の選手が3人とB国籍の選手が2人、または、
 - －A国籍の選手が3人とB国籍の選手が3人が含まれている場合、対戦順序は下記の通りである

1-2	6-4	4-2
4-5	2-5	3-6
2-3	1-4	5-1
5-6	5-3	3-4
3-1	1-6	6-2

選手の名前は下記のようにプール用紙に配置される：

 - －A国籍の選手は、1、2、3の番号を与えられる。
 - －B国籍の選手は、4と5、または、4、5、6の番号を与えられる。

- c) プールの6人の選手の中に、A国籍の選手が4人とそれぞれ異なる国籍の選手が2人含まれる場合は、A国籍の4人の選手が1、2、3、4とプール用紙に配置され、プールの対戦順序は、下記の通りである

3-1	1-2	4-5
4-2	3-4	6-2
1-4	1-6	5-1
2-3	2-5	6-4
5-6	3-6	5-3

- 4 7人のプールにいる同国籍の選手の順番の例：

- a) プールの7人の選手の中に、
-A国籍の選手が2人、または、
-A国籍の選手が2人とB国籍の選手が2人、または、
-A国籍の選手2人、B国籍の選手2人、C国籍の選手2人、
が含まれている場合、上記の条項 o.69 に規定されている7人のプールの対戦順序に従うと同時に同じ国籍の選手同士が最初に対戦するようにプール用紙に配置される。

- b) プールの7人の選手の中に、
-A国籍の選手が3人、または、
-A国籍の選手が3人、B国籍の選手が2人、または、
-A国籍の選手2人、B国籍の選手2人、C国籍の選手2人、
含まれている場合は、A国籍の3選手は、プール用紙に1、2、3と配置され、B国籍の2選手は4と5、C国籍の2選手は6と7とならなければならない。
条項 o.69 に詳記されている7人のプールの対戦順序は、もはや適用されず、下記の順序に変更されなければならない

1-2	6-2	1-4
4-5	3-4	2-7
6-7	7-5	5-3
3-1	1-6	6-4
4-7	4-2	7-1
2-3	7-3	2-5
5-1	5-6	3-6

o.71

1 もしプール中の試合が偶発的原因で中断され、この中断が長引くような場合には、主審は、(DTまたは出来れば組織委員会の同意を得て) 正常な競技会の進行が行なえるように試合順序を変更する事が出来ることとする。

2 プールの中で連続して行う2試合の試合と試合の間に選手が休める時間は、3分である。

o.72 競技会が開始する前にDTは、プールで確立されたランキングを基にして予選で落とされる選手数を決定して発表することとする。

o.73

- 1 プール戦の後、V/M、TD-TR、TD の指数を順番に考慮して、プール戦に参加した全選手の総合順位が決められることとする。(V=勝利数、M=マッチ数、TD=得点したトゥシュ数、TR=受けたトゥシュ数)
- 2 その後で、下記の方法で順位の一覧表が作成されることとする。
 - a) 一覧表に記入された結果を合計し、2つの必要な指標を確認する。
 - b) 最初の順位付けに関しては、第1指標は、V/Mにより、勝利数を対戦したマッチ数で割り算して得ることとする。
 - c) 最高指数(最大限1)の選手が第1位にシード付けされることとする。
 - d) 第1の指標が同じ場合は、第1指標の選手を区別するためにTD-TRして、選手が得点したトゥシュ数とその選手が受けたトゥシュ数の差である第2指標と設定する。
 - e) V/MとTD-TRの2指標が同等の場合は、得点したトゥシュ数が最多数の選手が最高位にシード付けされることとする。
 - f) 2人またはそれ以上の選手間で全てが完全に同等の場合は、彼等のシード順位は抽選で決定されることとする。
- 3 予選通過最終順位の間で全てが完全に同等の場合は、バラージュ(barrage)を行わないで、同指数の選手は全員、決めた制限人数を超えていても、次回戦出場資格を与えられることとする。

o.74 棄権

- 1 プール戦の開始時に出席していない選手は、プール戦から削除され、「開始しなかった」の情報と共に最終的格付けリストの末尾に格付け無しで記録される。
- 2 プール戦中に棄権する選手は、プール戦から削除されて「終了しなかった」の情報と共に結果リストに記録される。
- 3 プール戦中に除外される選手は、プール戦から削除され、その選手の結果は、その選手が参加していなかったように、無効にされる。その選手は、「除外された」の情報と共に最終的格付けリストの末尾に格付け無しで記録される。

o.75

B. エリミネーション・ディレクトに関する一般規則

o.76 エリミネーション・ディレクト表は、順位一覧表と各競技会の特別規則を考慮に入れて設定される。国籍保護の原則は、適用されない。

o.77 競技会組織者は、T64の表から各試合の予定時間を表示しているエリミネーション・ディレクトの試合予定表を公表しなければならない。

o.78

- 1 1分間の休憩中、試合前に指名された人物は選手に接近することができる。
- 2 電気記録装置に結合された時計は、各ピリオド終了時に電気記録装置を遮断する。

o.79 棄権

- 1 エリミナション・ディレクト表から、何らかの理由で、選手が対戦しなかったり、試合できなかつたり、または試合を完了しない場合は、その選手の対戦相手がその試合の勝者と宣言される。棄権をする選手は、その競技会の総合順位の中の順位を喪失しないが、「終了せず」という文言とともに結果リストに記録される。
- 2 除外される選手はエリミナション・ディレクト表から削除されて、その選手の結果は、その選手が参加していなかったように無効にされる。その選手は、最終ランキングの末尾にランク無しで「除外」という文言とともに結果リストに記録される。 t.124.3.b, t.170 参照

o.80 試合順序

- 1 エリミナション・ディレクト表（256、128、64、32、16、8または4）の各ラウンドでは、試合の順番は、常に表の上部から開始して、下部で終了する。
- 2 エリミナション・ディレクトが4つまたは8つのピスト上で同時に進行している場合にも、この規則は、表の4分の1、8分の1に対して適用されなければならない。
- 3 選手は、連続して試合を行う場合、間に常に10分間の休憩を与えられなければならない。

o.81 決勝戦

- 1 決勝戦は、エリミナション・ディレクトにより行われ4人の選手で構成される事が望ましい。
- 2 男子と女子の同じ種目の決勝戦は、できる限り同じ日に行われる事が望ましい。

o.82 順位

- 1 総合順位は、下記のように達成される：
 - 1位：1位決定戦の勝者
 - 2位：1位決定戦の敗者
- 2 準決勝の試合で負けた2選手は、選別する必要がある場合は、同等に3位の順位になる。
- 3 選別する必要がある場合は、準決勝戦で負けた2選手間で3位と4位のためのマッチが行われることとする。
- 4 残りの順位は次のように決められる：
 - a) プール戦を伴う競技会： プール戦後のエリミナション・ディレクト表作成用ランキングにしたがう。
 - b) プール戦を伴わない競技会： 最初のエリミナション・ディレクト表の前と必要な場合の抽選前のランキングにしたがう。
- 5 プール戦で敗退した選手は、このラウンドにおける選手の順位にしたがって順位付けされ、エリミナション・ディレクトに出場資格を得た選手達の後ろにランキング付けされる。

**C. 混合方式 A： シニアの世界選手権大会、シニアのワールドカップ、グランプリ
混合方式 A**

o.83 プール戦の予選一回戦、エリミネーション・ディレクト予選、決勝戦出場資格を得るための 64 選手によるエリミネーション・ディレクト。この方式は、シニア世界選手権大会の個人戦、並びに、シニア・ワールドカップ競技会とグランプリ競技会に使用される。

o.84 下記に続く詳細は別として、上記に規定されているプール戦とエリミネーション・ディレクトに関する一般規則が適用する。

o.85

- 1 競技会は、予選と本戦の 2 段階からなり、各段階は、各々 1 日をあてて行われる。
- 2 最近の公式 F I E ランキングで最高のランク付けをされていてエントリーした 16 人の選手は予選段階から免除される。
- 3 出場申込みをした選手が試合に現れない場合には、正式に証明された不可抗力の場合を除いて、その選手の NF は F I E に支払う罰金 (o.31、財政的処罰と罰金の表参照) で処罰される。
- 4 予選を免除される 16 位に 2 人またはそれ以上の選手が F I E 公式順位表に同等に順位付けられている場合、予選を免除される選手を決定する抽選が行われる。

o.86

- 1 予選は、プール戦出場全選手の指数を基にして 20%~30%が予選落ちするプール戦 1 ラウンドとエリミネーション・ディレクト予選から成る。グランプリ競技会では、プール戦の指数を基にして予選落ちする選手の人数は 30%でなければならない。
- 2 プール戦ラウンドの後で、総合指数 (o.73 参照) で最上位にランク付けられた 16 人の選手は、エリミネーション・ディレクト予選から免除される。16 位に 2 人またはそれ以上の選手が占める場合は、16 位のランクの選手を決定するために 5 トウシュのバラージュが行われる。バラージュ後に、選手のランキングは、V、TD-TR、TD にしたがって決定される。
- 3 プール戦で出場資格を得た残りの選手達は、予選用のエリミネーション・ディレクト表を編成する。これは、プール戦の全選手の指数を基にしている (同等の指数の場合は、選手は、抽選で選別されることとする。)。この表は、完全であろうとなかろうと、残りの選手が 32 人だけになるまで試合が行われることとする。

o.87

- 1 本戦段階は、4 つのピストで、各ピストに付き表の 4 分の 1 の試合が行われるエリミネーション・ディレクト表で成り立つ。しかし、もしその競技会組織に特有の理由がある場合は、T64 の第 1 ラウンドは、8 つのピストで試合が行われることがある。グランプリ競技会は、4 つのピスト上で試合が行われなければならない。
- 2 予選段階から免除されたシード選手は、F I E 公式順位の順番に 2 人 1 組でくじを引いてこの表の 1 位~16 位の位置を占める。
- 3 出場申し込みをした 16 名のシード選手の 1 人が試合に現れない場合には (o.85 参照)、表にあるその位置は空白のまま残されることとし、その選手の欠場が正

当化される場合を除き、その選手のNFはF I Eに罰金（o.31、財政的処罰と罰金の表参照）を支払わなければならない。

- 4 プール戦後にエリミナション・ディレクト予選を免除された 16 人の選手は、その指数順に順位付けされて 17 位～32 位の位置を占めることとする。（同点指数の場合は、選手は、抽選によって選別されることとする）。
- 5 エリミナション・ディレクト予選で出場資格を得た 32 人の選手は、プール戦の後の彼等の指数に従って順位付けられた 33 位～64 位の位置を占めることとする。

6 DT 委員長の出席のもとエリミナション・ディレクト予選の終了時に、T64 本戦への通過者の抽選と分配が行われる。

o.88 3 位決定戦は、行われなかったこととする。準決勝の試合で負けた 2 選手は、同等の 3 位の順位を占めることとする。

D. 混合方式 B： ジュニアとカデの世界選手権大会とジュニアのワールドカップ及び

大陸別選手権大会

混合方式 B

- o.89** プール戦の予選一回戦、エリミナション・ディレクトによって決勝戦出場資格を得るためのエリミナション・ディレクト表。
この方式は、ジュニアとカデの世界選手権大会の個人戦およびジュニアのワールドカップ競技会及び大陸別選手権大会に使用される。大陸別のカデ選手権大会のシーディング規則はソーンの連合によって確立される。
- o.90** 下記に続く詳細は別として、上記に規定されているプール戦とエリミナション・ディレクトに関する一般規則が適用する。
- o.91** 競技会は、各種目ごとに各々1日を当てて行われる。
- o.92** 試合は、参加選手全員が出場するプール戦ラウンドとエリミナション・ディレクトで成り立つ。
- o.93**
- 1 プール戦で出場資格を得た全選手は、プール戦からの指数に従って、表が完全であろうとなかろうと、エリミナション・ディレクト表に配置される。この表は、決勝まで戦われる。
 - 2 T32 からは、エリミナション・ディレクトの試合は、下記のどちらかのピストで試合が行われる：
 - － 4 つのピストで、各ピストに付き表の各 4 分の 1 ずつの試合、または、
 - － 8 つのピストで、2 つのピスト上で表の各 4 分の 1 ずつの試合
- o.94** 3 位決定戦は、行われなかったこととする。準決勝の試合で負けた 2 選手は、同等の 3 位の順位を占めることとする。

E. 方式 C :

o.95 オリンピック大会

オリンピック大会の組織フォーミュラは、I O Cの承認を得て理事会によって確立される（管理規則の 9.1.1.1 を参照）。

o.96 地域大会

地域大会の組織方式は、I O Cの承認を得て理事会によって確立される（管理規則の 9.1.1.1 を参照）。

団体戦

A. シニアとジュニアの世界選手権大会、大陸別の選手権大会

o.97 各種目で、チームは、補欠の有無にかかわらず、3人の選手で構成される。チームは、チームが完全である場合にだけマッチを開始することが出来る。

o.98

- 1 試合は、表が不完全なエリミナション・ディレクト表を用いてエリミナション・ディレクトによって行われる（図 7b を参照）。
- 2 ジュニアとシニア世界選手権大会では、チームは、F I Eの最新公式チーム・ランキングにしたがって表に配置されることとする。順位付けされていないチームは表の最下位を占め、抽選で区別される。
- 3 シニアとジュニアの世界選手権大会では、表の 16 位までの全順位は勝負で決められる。17 位以降のチームは、表の当初の順位にしたがって、表の各ラウンド内で順位付けされる。

o.99 試合方式は、下記の通りである：

- 1 リレー方式が各種目に適用する。
- 2 1 チームの 3 選手は、相手チームの 3 選手と対戦する（9 リレー試合）。
- 3 各マッチは、下記の順序で行われる：

3-6	2-5
1-5	1-4
2-4	2-6
1-6	3-5
3-4	

もし故意であってもなくてもこの順序が変更される場合、変更以後得点した全てのトウシュは無効になり正しい順序でランコントロールが再開される。

- 4 ランコントロールのスコアシートにある各チームの配置は、抽選で決定される。個々の選手の順番は、チーム・キャプテンによって決定される。
- 5 a) ランコントロールの間に、チームキャプテンは、選手をランコントロールの開始前に指定した補欠選手と交代させることを要求できることとする。この選手の交代は、マッチの終了時にのみ行う事ができる。しかし、交代させられた選手は、最初に彼と交代した選手と交代するためにだけマッチ中にもう一度対戦できる。この 2 回目の交代は、最初の交代が条項 o.99.6 に列記されてい

る理由の為に行なわれた場合には認可されない。事故の場合でも避けがたい状況の場合でも、更なる交代は、全く認められない。選手交代のアナウンスメントは、遅くとも交代させられる選手の次のマッチの前のマッチの開始前に行われ、主審から相手のチームキャプテンに通告されなければならない。世界選手権大会とオリンピック大会では、主審は即刻これをDTにも報告しなければならない。

- b) もし選手交代要求後のマッチで事故が発生する場合は、チームキャプテンはその交代要求を取り消しできる。
 - c) もし相手チームのキャプテンも選手交代を要求していた場合、この選手交代は実行されたり取り消されたりできる。
- 6 a) もしチーム・メンバーの選手がF I Eの医療代表者によって正式に認知された事故のためにランコントロール中に退場を余儀なくされる場合は、そのチームのキャプテンはマッチ進行途中であっても、退場を余儀なくされた選手の退場時点でそのランコントロール継続のために補欠選手を付け加える要求が出来る。
- b) しかし、このように交代させられた選手は、その同じランコントロール中に再びチームの自分の位置に戻ることはできない。
- 7 a) もし選手と補欠選手の両方が退場を余儀なくされる場合があれば、もしくはチームのメンバーが欠けた場合は、そのチームは、そのランコントロールに敗れる。
- b) もし、選手が、団体戦のランコントロール中に排除された場合、その選手のチームは試合に負け、そのチームは競技から最終順位なしで排除される。
- 8 いかなる理由でもチームが参加中の種目を完了しない場合、DTは、各チームを個々の選手のように考慮して、個人戦での種目を完了しない選手に対して規定されている規則を適用することとする。t.124.3.b, t.170 参照
- 9 チームが他のチームとの対戦に現れない場合：
- a) もしこのチームが既に他のチームと戦っていたならば、参加中の種目を完了しないと考慮される (o.79 参照)。
 - b) もしこれがこのチームの最初のランコントロールであれば、この種目で全く競技をしないと考慮される。
- 10 チームが連続して試合を行う場合、間に常に 10 分間の休憩を与えられなければならない。

B. シニアとジュニアの団体ワールドカップと大陸別選手権

o.100 下記の状況は別として、競技会は、ジュニアとシニアの世界選手権大会および大陸別選手権における団体種目に規定された規則にそれぞれ則って行われる。

o.101 もしチームがランコントロールを開始しない場合、当番の医師が立証した負傷や病気が理由でない限り、彼らは競技会から失格して団体ワールドカップのポイントを授与されない。

o.102

- 1 上位の4チームは、F I Eの現行公式チーム・ランキングに従ってエリミナシオンディレクト表に配置される (o.109 参照) ; 残りのランク付けされているチ

ームはペアーの抽選で表に配置される。順位付けされていないチームは表の最下位に配置され、抽選で区別される。

- 2 表は、出場申込をしたチームのランキングを基盤として遅くとも個人種目の準々決勝の終了1時間後に作成されることとする。

大陸別選手権において、FIE ランキングを持たない国は、エリミナションディレクト表の最終順位に位置することとなる。チームを構成する個人戦上位者3名の最終結果に基づいて団体戦のランキングが決定される。個人戦において順位を持たない選手は、最終順位+1の順位となる。

o.103

C. オリンピック大会

o.104 オリンピック大会の組織フォーミュラは、IOCの承認を得て理事会によって確立される（管理規則の9.1.1.1を参照）。

第2章 ビデオ審判

o.105 ビデオ審判は、グランプリ、シニアの世界選手権大会の個人戦と団体戦、ジュニアとカデの世界選手権大会、世界選手権大会、オリンピック大会、大陸別の選手権大会、オリンピック大会の選考大会の全3種目に義務付けられている。ベテランの世界選手権大会では任意である。

- 1 ワールドカップの個人戦、グランプリ競技会、大陸別の選手権大会とオリンピック大会の選考大会では、ビデオ審判は、義務であり予定表の試合が4つまたは8つのピスト上で出来るようになり次第とどのような場合でも64の表から使用されなければならない。
- 2 ワールドカップの団体戦では、ビデオ審判は、3位決定戦のマッチを含めるが、他の順位のマッチを除いて、予定表の試合が4つだけのピスト上で出来るようになり次第、義務付けられている。
- 3 シニアの世界選手権大会の個人戦と団体戦では、ビデオ審判は、ランキングマッチの5-8の表を含めて、予定表の試合が全てビデオ審判を装備した最大限8つのピスト上で出来るようになり次第義務付けられている。
- 4 ジュニアとカデの世界選手権大会の個人戦では、ビデオ審判は、予定表の試合が全てビデオ審判を装備した最大限8つのピスト上で出来るようになり次第とどのような場合でも32の表から義務付けられている。
- 5 伝統的な種目の団体戦では、ビデオ審判はランキングマッチの5-8の表を含めて、16の表から義務付けられている。エペでは、ビデオ審判は、ランキングマッチの5-8の表を含めて、8の表から義務である。
- 6 オリンピック大会の個人戦と団体戦では、ビデオ審判システムは、全3種目共、競技会の全段階で義務付けられている。

ビデオ審判の使用について

競技会	個人戦	団体戦	ビデオつきピストの数	団体戦・順位決定戦
シニアワールドカップ	T64	T16	4もしくは8	T1-8
ジュニアワールドカップ	義務なし	義務なし	義務なし	義務なし
グランプリ	T64	---	4もしくは8	---
シニア世界選手権	T64	T16	4もしくは8	T1-8
ジュニア・カデ世界選手権	T32	T16	8	T1-8
大陸別シニア選手権	T64	T16	4もしくは8	T1-8
大陸別ジュニア世界選手権	義務なし	義務なし	義務なし	義務なし
ベテラン世界選手権	義務なし	義務なし	義務なし	義務なし
オリンピック大陸別予選会	プール	---	全て	---
オリンピック	全ての試合にて義務			

第3章 ドーピング防止

o.106 ドーピング防止検査は、条項o.107 とF I Eのドーピング防止規則に従って全てのF I E公式競技会で実施されなければならない。検査は、競技会の開始から開始してフェンシングを終了した選手に適用する。

o.107

- 1 ドーピングは、F I Eによって禁止されている。この規則の違反は全て懲戒処分を受ける。
- 2 ドーピングは、F I Eのドーピング防止規則の条項 2.1 から 2.8 までに規定されているドーピング防止規則違反の一つまたはそれ以上の発生と定義付けする。
- 3 F I Eは、WADAのドーピング防止規定に拘束されている。F I Eのドーピング防止規則はWADAの「最も望ましい実施基準 (WADA Models of Best Practice)」を基盤としており、前記文書の「強制規定」を全部採用している。また、F I Eは、WADAの「禁止物質部類と禁止手段」の文書も全部採用している。
- 4 F I Eは、F I E監督下に組織された全競技会で並びに競技会外でドーピング検査を行う権利を保有する。
- 5 F I E競技会に参加する選手は、F I Eドーピング防止規則を遵守する事と禁止物質や禁止手段を使用しないことを約束し、競技会中と競技会外のいかなる検査をも受ける事に同意する。
- 6 公式F I E競技会と競技会外のドーピング検査に関する詳細は全てF I Eのドーピング防止規則の規約にある。
- 7 ドーピング防止規則違反から生じる処罰と処罰の結果は、F I Eのドーピング防止規則に規定されているものである。
- 8 ドーピング防止規則違反が判明した選手は、ドーピング防止規則に規定されている処置の対象となる。検査結果及び処罰適用に関する判定の発表は、全加盟NFに通告する権利を唯一有しているF I E本部局によって発表される。
- 9 F I Eの加盟国の1国で犯されて処罰されたドーピング違反は、重視される事とし、F I Eの全加盟国によって処罰（制裁）が適用されることとする。
- 10 F I Eのドーピング防止規則の変更は、理事会の権限の範囲に含まれる。

D： 競技会後の手順

第1章 ランキング

o.108 公式F I E個人ランキング

1 原則

- a) F I Eの公式シニア・ランキングは、大陸に関係なく、選手が参加したワールドカップやグランプリやサテライト競技会の最良の**5**結果、プラス、世界選手権大会またはオリンピック大会、及び大陸別選手権大会を考慮に入れる。
- b) F I Eの公式ジュニア・ランキングは、大陸にかかわらずなく、選手が参加したワールドカップ競技会の最良の**6**結果に加えて世界選手権大会と大陸別選手権大会を考慮に入れる。
- c) シニアとジュニアの両方共、ランキングは永久的に更新される。
現行年度の最初のグランプリ大会は、前年度の最初のグランプリ大会を帳消しにし、残りのグランプリ大会に関しても同様である。
現行年度の最初のワールドカップ大会の**個人**種目は、前年度の最初のワールドカップ大会の**個人**種目を帳消しにし、そのシーズンの残りのワールドカップも同様である。現行年度の最初のサテライト競技会は、前年度の最初のサテライト競技会を帳消しにし、その他のサテライト競技会に関しても同様である。
競技会で配分されたポイントは前年度の相応する競技会に配分されたポイントを帳消しにする。
もし競技会が現行シーズンに開催されない場合は、前シーズンの同じ競技会で獲得したポイントは、その競技会の開催記念日に削除される。
- d) 同等ポイントの場合は、勝者は、**1**位を最も多く獲得、次に**2**位、等々を最も多く獲得した者である。もし完全に同点の場合は、選手は、同等にランク付けされる。
- e) ランキング確立に考慮される各競技会の後、ランキングはF I Eによる結果の確認後に自動的に更新される。
- f) 特別な規則が適用する場合を除いて、最新公式F I Eランキングは、全てのランキングシード付け、免除、等の決定要素である。

2 個人ポイント一覧表

- a) **シニア・ジュニア**のランク付けは、下記のポイント一覧に基づいてなされる：

1 位	32 ポイント
2 位	26 ポイント
3 位～4 位	20 ポイント
5 位～8 位	14 ポイント
9 位～16 位	8 ポイント
17 位～32 位	4 ポイント
33 位～64 位	2 ポイント

65位～96位	1ポイント
97位～128位	0.5ポイント
129位～256位	0.25ポイント

- b) ワールドカップ個人戦において獲得したポイントは、**1**倍。
- c) F I Eグランプリ及び大陸別選手権で獲得したポイントは、**1.5**倍される。
- d) シニア世界選手権大会とジュニア世界選手権大会の個人種目で獲得したポイントは**2.5**倍される。
- e) オリンピック個人種目で獲得したポイントは**3**倍される。オリンピックでは、**4**位は**54**ポイントを授与される。
- f) エリミナション・ディレクトにおいて実際に参加した選手だけがポイントを授与される。

3 栄誉

F I Eシニア各種目ランキングの勝者（ランク 1位の選手）は、シニア世界選手権大会やオリンピック大会の終了時に発表されることとする。

ジュニア各種目ランキングの勝者（ランク 1位の選手）はジュニア世界選手権大会の終了時に発表されることとする。

o.109 公式F I E団体ランキング

1 原則

- a) F I Eのシニア公式団体ランキングは、大陸に関係なく、シニア団体ワールドカップにおけるチームのベスト 4に加えてシニア世界選手権大会またはオリンピック大会及び大陸別選手権大会を考慮に入れる。
F I Eの公式ジュニア・ランキングは、大陸に関係なく、ジュニア団体ワールドカップにおけるチームのベスト 4に加えてジュニア世界選手権大会とジュニアの大陸別選手権大会を考慮に入れる。
- b) F I Eの公式団体ランキングは、**随時**、かつ常に更新される。

ワールドカップの団体戦は、カレンダーにおいて規定の日付順に番号がつけられる。

現行シーズンの大会 1 において付与されたポイントは、前年度の大会 1 において付与されたポイントに取って代わる。

もしある大会が現行シーズンに中止された場合、前年度の同じ大会で獲得したポイントは、その現行シーズンのカレンダーにおける大会の開催日に削除される。

- c) 幾つかのチームが同じポイントの場合は、公式F I E個人種目ランキングに関するのと同じ規則が適用することとする。（o.108 参照）。
- d) 特別規則を適用する場合を除いて、最新の公式チーム・ランキングは、全てのランキング、シードを決定する要素である。

2 団体ポイント一覧表

a) ランキングは下記のポイント基準を基本とする：

1位	64ポイント	7位	28ポイント	13位	21ポイント
2位	52ポイント	8位	26ポイント	14位	20ポイント
3位	40ポイント	9位	25ポイント	15位	19ポイント
4位	36ポイント	10位	24ポイント	16位	18ポイント
5位	32ポイント	11位	23ポイント	17~32位	8ポイント
6位	30ポイント	12位	22ポイント	33位~64位	4ポイント

2024-25年シーズンより適用

- b) 団体世界選手権大会に関しては、上記のポイントは、2倍される。
c) 団体大陸別選手権大会で獲得したポイントは、1倍される。

3 栄誉

F I Eジュニアおよびシニアの各種目団体公式ランキングの勝者（ランク 1位のチーム）は、世界選手権大会またはオリンピック終了時に発表されることとする。

第2章 グランプリ・オブ・ネーションズ（国際グランプリ賞）

o.110

F I Eの金メダルである国際グランプリ賞は、毎年次のように付与される。

カデグランプリオブネーションズ
ジュニアグランプリオブネーションズ
シニアグランプリオブネーションズ
ベテラングランプリオブネーションズ

これらの各カテゴリーにおいて、グランプリオブネーションズは、世界選手権における個人戦、および団体戦において最も多い数の金メダルを獲得した国に贈られる。

もし二カ国が同数であった場合は、銀メダルの数が多い方となる。それでも同数の場合は、銅メダルが多い方となる。更に同数の場合は、二カ国が勝者となり、グランプリオブネーションズを受け取る。

E ベテラン 組織と管理の責任機関

ベテラン組織委員会

o.111

DTは、競技会を組織する習慣と能力を有した人物によって構成される。DTは、異なる国籍4人から構成され、そのなかには、競技会開催国および可能であれば翌年の競技会開催国の代表者が含まれる。少なくとも各性別1名を有しておく必要がある。

o.112

審判とSEMIと医事の代表者の任命

2名の審判代表者、1名のSEMI代表者、2名の医事代表者はFIE委員会のメンバーでなければならない。またそれぞれの委員会の提案によってFIE理事会により任命される。

ベテラン世界選手権大会においては、代表の空き状況と大陸代表の都合が許せば、5人の代表者については、男女それぞれ少なくとも1人の代表が存在する必要がある。

o.113

審判員

ベテラン世界選手権大会の審判員は、組織委員会およびベテラン委員会の指示に基づき審判委員会によって選抜され、FIEの理事会によって指名された審判員によって行われる。審判員は、世界選手権大会の前日に行われる審判会議に必ず出席しなければならない。

o.114

参加者の年齢

ベテラン競技会の年齢グループは：

- a) 年齢グループ 50–59：競技会の年に50歳以上60歳以下である
 - b) 年齢グループ 60–69：競技会の年に60歳以上70歳以下である
 - c) 年齢グループ 70+：競技会の年に70歳以上である。
-

ベテラン競技会の年齢グループは：

- a) 年齢グループ 40-49：競技会の年に 40 歳以上 50 歳以下である
- b) 年齢グループ 50-59：競技会の年に 50 歳以上 60 歳以下である
- c) 年齢グループ 60-69：競技会の年に 60 歳以上 70 歳以下である
- d) 年齢グループ 70+：競技会の年に 70 歳以上である。

2025 年ベテラン世界選手権にテストとして適用する。（2023-24 年シーズンは適用しない。）

競技会の手順

プログラム

ベテラン世界選手権大会

o.115

1 ベテラン世界選手権大会のプログラムは 24 種目で成り立っている。つまり 3 カテゴリー、種目については、男子フルーレ、女子フルーレ、男子エペ、女子エペ、男子サーブル、女子サーブルで、個人 18 種目と団体 6 種目である。

プログラムは全ての種目において誰もが参加出来るように整えられていなければならない。団体種目は、各種目の 3 カテゴリーの最後の競技の翌日に開催されなければならない。

2 プログラム発表後は、競技にかかわらずいかなる日付の変更も認められない。

3 各試合は、時間の無駄を回避するために、1 日で行われなければならない。

1 ベテラン世界選手権大会のプログラムは 36 種目で成り立っている。つまり 24 の個人種目（各種目 4 カテゴリーおよび 12 の団体種目）であり、種目については、男子フルーレ、女子フルーレ、男子エペ、女子エペ、男子サーブル、女子サーブルである。

プログラムは全ての種目において誰もが参加出来るように整えられていなければならない。団体種目は、各種目の 3 カテゴリーの最後の競技の翌日に開催されなければならない。

2 プログラム発表後は、競技にかかわらずいかなる日付の変更も認められない。

3 各試合は、時間の無駄を回避するために、1 日で行われなければならない。

2025 年ベテラン世界選手権にテストとして適用する。（2023-24 年シーズンは適用しない。）

招待

国際役員の招待

ベテラン

o. 116

1 ベテラン世界選手権大会を開催するための立候補の申請は、立候補した NF の招待で、理事会が任命する特別代表団によって開催地で検討されなければならない。

2 参加選手団からエントリー料全額を受け取る予定の世界選手権大会組織委員会は、組織者の経費負担で、下記の国際役員を招待しなければならない（エコノミー・クラスの往復航空運賃、宿泊費、日当）：

- a) 世界選手権大会を統括し、特に、DTの潤滑な運行を管理する F I E 会長あるいは会長代理
- b) F I E の理事会に指名された 4 名の DT メンバー、うち 1 名は組織国に所属 (o.111 参照)
- c) F I E 理事会に任命された 1 名の SEMI 委員会メンバー
- d) F I E 理事会に任命された 2 名の審判委員会メンバー
- e) F I E 理事会に任命された 2 名の医事委員会メンバー
- f) F I E 理事会に指名された審判員

a) から e) のオフィシャルは、なるべく選手権大会が開催される大陸から選出される事とする。

o.117

競技会へのエントリー

1 選手と出場の可能性のある補欠選手の名前のエントリーとチームのエントリーは、F I E のウェブサイトですくとも競技会の 7 日前（ローザンヌ時間午前 0 時まで）に行われなければならない。チームのエントリーに関しては、チームを編成している選手の名前は競技会の前日、遅くとも個人戦の準々決勝戦の終了時まで組織者に通告することによって変更できる。しかしながら、競技会の医師によって正式に証明された負傷や病気の場合には、この段階の後、遅くとも個人種目の終わりまでに、変更を行うことができる。

2 選手やチームの取消

エントリーの締切日以後、負傷や不可抗力の理由を除いて、指定選手やチームは絶対に取消しできない。NF は F I E と組織者に通告しなければならない。

3 選手の交代

競技会前の水曜日（ローザンヌ時間午前 0 時）まで選手は他と交代できる。これを行うには NF はファックスか E メールなどの文書で F I E に選手交代の申請書を送付しなければならない。

4 締切以後の選手やチームの追加

競技会前の水曜日から競技会の前日の正午（現地時間）までに、NFによって各追加選手のためにさらに高い罰金（o.31、財政的処罰と罰金の表参照）をF I Eに支払い後に1人またはそれ以上の選手および/またはチームを付加できる。これを行うには、NFは、罰金を15日以内に支払う誓約書と追加選手及び/またはチームの申請書をF I Eに（ファックスやEメールで）送付しなければならない

- 5 出場申し込みをした選手またはチームが試合に現れない場合には、正式に証明された不可抗力の場合を除いて、そのNFはF I Eに支払わなければならない罰金（o.31、財政的処罰と罰金の表参照）を伴って処罰されることとする。

- 6 全ての公式競技会の組織者は、F I Eに支払わなければならない罰金（o.31、財政的処罰と罰金の表参照）のリスクを承知し、上記に適合するリストに記載されていない選手のエントリーや所属NFから申請されていないエントリーや現行シーズンに有効なF I Eライセンスを所有していない選手並びに審判員のエントリーを拒否しなければならない。

o.118

ベテラン選手権大会個人戦のプールの構成

プールは下記の力の序列を考慮に入れる：

- 1 年令カテゴリー変更に関係なく、過去2年間のベテラン世界選手権の結果をもとにランク付けする。

次の表に基づいてポイントが付与される。

1位	80点	33位	6点	64位	2,9点
2位	65点	34位	5,9点	65位	2,8点
3位	50点	35位	5,8点	66位	2,7点
5位	38点	36位	5,7点	67位	2,6点
6位	36点	37位	5,6点	68位	2,5点
7位	34点	38位	5,5点	69位	2,4点
8位	32点	39位	5,4点	70位	2,3点
9位	30点	40位	5,3点	71位	2,2点
10位	28点	41位	5,2点	72位	2,1点
11位	26点	42位	5,1点	73位	2点
12位	24点	43位	5点	74位	1,9点
13位	22点	44位	4,9点	75位	1,8点
14位	20点	45位	4,8点	76位	1,7点
15位	18点	46位	4,7点	77位	1,6点
16位	16点	47位	4,6点	78位	1,5点
17位	14点	48位	4,5点	79位	1,4点
18位	13,5点	49位	4,4点	80位	1,3点
19位	13点	50位	4,3点	81位	1,2点
20位	12,5点	51位	4,2点	82位	1,1点

21位	12点	52位	4,1点	83位	1点
22位	11,5点	53位	4点	84位	0,9点
23位	11点	54位	3,9点	85位	0,8点
24位	10,5点	55位	3,8点	86位	0,7点
25位	10点	56位	3,7点	87位	0,6点
26位	9,5点	57位	3,6点	88位	0,5点
27位	9点	58位	3,5点	89位	0,4点
28位	8,5点	59位	3,4点	90位	0,3点
29位	8点	60位	3,3点	91位	0,2点
30位	7,5点	61位	3,2点	92位	0,1点
31位	7点	62位	3,1点	93位以降	0点
32位	6,5点	63位	3点		

- 2 若い順に開始して、年齢順のその他の選手全員
- 3 プールの中の選手の配属は、必要に沿って選手をランキングの下の方に移動させて出来る範囲まで同じ国籍の選手を異なるプールに配置するように行われなければならない。
- 4 もしどのカテゴリーでも選手が 10 名以下の場合、競技会はエリミネーション・ディレクトが後に続くプール・ユニーク (poule unique) として開催される。
- 5 もしどのカテゴリーでも競技者が 6 名以下の場合、彼等は 1 つ下の年齢カテゴリーでフェンシングを行う。このカテゴリーに関する別のランキングが競技会の終わりでこの組み合わせカテゴリーの最終ランキングに基づき推定される。
- 6 もしどのカテゴリーでも競技者が 1 名だけの場合は、そのカテゴリーにおける試合は中止される。
- 7 プール戦後、選手は誰も排除されず、全員がエリミネーション・ディレクトに進出する。

o.119

ベテラン団体戦

- 1 エントリー

各国は、各性別と各種目に付き 1 チームをエントリー出来るので、合計 6 つの競技会となる。チームは対応する種目の個人戦に参加した選手によって構成される。ただし、o.103.2.b 参照のこと。
- 2 団体戦規則の適用において、下記の例外を伴う：
 - a) 各種目に関しては、チームは、各カテゴリーに関して補欠の有無にかかわらず、カテゴリーAから 1 名、カテゴリーBから 1 名、カテゴリーCから 1 名の同じ国籍の選手 3 名で編成される。チームは、完全でない場合にはランコントロールを開始できない。
 - b) どの種目でも選手が不足しているチームの場合、そのチームは、他の種目の個人戦で競技した選手あるいはエントリーはしたが、まだ試合を行っていない選手を使用出来る。しかし、彼がプラス 1 として試合を行うチームの種目の個人戦において最下位の選手としてみなされることとなる。

- c) チームは、個人戦での 3 名の選手のランキングにしたがってプールに配置される。合計が最低のチームが 1 位になる。団体種目に登録した全選手は、試合の開始前にピストにいないなければならない。
- d) 各チームは、指定の対戦開始前に選手の交代を求めることが出来る。しかし、医事代表者によって正式に負傷が認められた場合、リレー戦中であっても、交代は即刻行う事が出来る。

交代は各チーム各ランコントロールに 1 回だけである。

- 3 負傷のために交代させられた選手は、そのランコントロール中に再び競技してはならない。もし選手と補欠の両方が退場を余儀なくされる場合があれば、または、もし選手が除外される場合は、そのチームは、そのランコントロールに敗れたとみなされる。
- 4 リレーシステムが、常に適用される。チームの 3 名の選手は、同じカテゴリーの対戦相手と戦う。各選手は、自分の対戦相手と 2 回、合計 6 回対戦する。対戦は、5 トウシュで成り立っている (5、10、15、20、等)。例外的に、リレー戦は、もし選手がリレー戦の有効なトウシュを得点し、同時にペナルティートウシュが与えられた場合に 5、10、15 以上で終了することがある。この場合、二つのトウシュをカウントする。各対戦の最大制限時間は 3 分である。
- 5 最初に 30 トウシュの獲得するチームまたは規定時間終了時に、得点の多いチームが、勝者である。
- 6 各ランコントロールのカテゴリーの順番は、ランコントロール開始前にピスト上でキャプテンと共に主審によって決定される、つまり、主審は、抽選を行い、勝ったキャプテンが最初のカテゴリーの順番を選ぶ。負けたキャプテンは 2 番目のカテゴリーを選ぶ。
- 7 競技会は、全てのチームが参加する 3~4 チームのプール戦 1 ラウンドと上位 16 チームのエリミナション・ディレクトで構成し、他のチームはプール戦ラウンド後のランキングによって決定される。
 - a) 4 チームのプール戦の対戦順：
 - マッチ 1： 第 1 位のチーム vs 第 4 位のチーム
 - マッチ 2： 第 2 位のチーム vs 第 3 位のチーム
 - マッチ 3： マッチ 1 の勝者 vs マッチ 2 の敗者
 - マッチ 4： マッチ 2 の勝者 vs マッチ 1 の敗者
 - マッチ 5 とマッチ 6： 2 つの残りのマッチ
 - b) 3 チームのプール戦の対戦順：
 - マッチ 1： 第 2 位のチーム vs 第 3 位のチーム
 - マッチ 2： 第 1 位のチーム vs マッチ 1 の敗者
 - マッチ 3： 第 1 位のチーム vs マッチ 1 の勝者プール戦の抽選をもとにした当初のランキングは、個人戦での選手の結果から決定される (o.103.2.c参照)。

プール戦の結果を使用して、全体のランキングが決定される。上位 16 位（または 16 チーム以下の参加の場合は上位 8 位）からランキングにしたがってチームをエリミネーション・ディレクト表に位置付ける。16 位と 17 位（または 8 位と 9 位）のランクのチーム間の結果が全く同じである場合はプール戦開始前に上位だったチームが資格を得る。

しかしながら、プール戦で既に対戦したチームは、エリミネーション・ディレクト 1 回戦で対戦すべきではない。これを回避するために、下位のランキングのチームが移動する。

- T16 の場合、第 9 位のチームは第 10 位のチームと、第 11 位のチームは第 12 位のチームとだけ、第 13 位のチームは第 14 位のチームとだけ、第 15 位のチームは第 16 位のチームとだけ順位を変更出来る。
 - T8 の場合、第 5 位のチームは第 6 位のチームとだけ、第 7 位のチームは第 8 位のチームとだけ順位を変更出来る。
- 8 もし 6 チームより少ない場合は一つのプールで戦う；3 位と 4 位の試合が行われて、プールで 1 位と 2 位になったチーム間の 1 位決定戦が続く。

9 5 位以降の順位決定戦については行われず、チームの順位はトーナメントのそれぞれの試合が終了した段階で、プール戦の順位にしたがって決定される。

1. エントリー

それぞれの国は、カテゴリー（ベテラン・グランドベテラン）、性別、種目によってエントリー登録できる。つまり 12 種目行われる。チームは対応する種目の個人戦に参加した選手によって構成される。ただし、o.103.2.b 参照のこと。

2 団体戦規則の適用において、下記の例外を伴う：

ベテラン：40～49 歳のグループに属する選手、または 50～59 歳のグループに属する選手、そして少なくとも 1 名の 50～59 歳のグループに属する選手 3 名に加えて、2 名までの補欠選手。

グランドベテラン：60～69 歳のグループに属する選手、70 歳のグループに属する選手、そして少なくとも 1 名の 70 歳のグループ選手 3 名に加えて、2 名までの補欠選手。

o.99 に定められた 45 トウシュのリレー戦を行う。対戦無意欲の規則も含む。

o.103.c に定められた規則にしたがって 3 もしくは 4 のチームからなるプール戦から競技を始める。その後、o.103.7 に定められたエリミネーション・ディレクトに移る。

エントリーチーム数に応じた特例

1 チーム：組織委員会は、各国 NF に当該種目の団体戦を行わないことを伝える。

2 チーム：2チームでの試合を行う。

3 チーム：3チームでのプール戦の後、T4の不完全なエリミネーション・ディレクト

4 チーム：4チームでのプール戦の後、T4のエリミネーション・ディレクト

5 チーム：5チームでのプール戦の後、T8の不完全なエリミネーション・ディレクト

準決勝での敗退チームは3位決定戦に臨む。

- a) どの種目でも選手が不足しているチームの場合、そのチームは、他の種目の個人戦で競技した選手あるいはエントリーはしたが、まだ試合を行っていない選手を使用出来る。しかし、その選手がプラス1として試合を行うチームの種目の個人戦において最下位の選手としてみなされることとなる。
- b) チームは、個人戦での3名の選手のランキングにしたがってプールに配置される。合計が最低のチームが1位になる。団体種目に登録した全選手は、試合の開始前にピストにいないといけない。
- c) 各チームは、指定の対戦開始前に選手の交代を求めることが出来る。しかし、医事代表者によって正式に負傷が認められた場合、リレー戦中であっても、交代は即刻行う事が出来る。

1 ランコントロールにつき、2回の交代が可能である、しかし、年齢カテゴリーの代表条件については、守る必要がある。

2025年ベテラン世界選手権にテストとして適用する。(2023-24年シーズンは適用しない。)

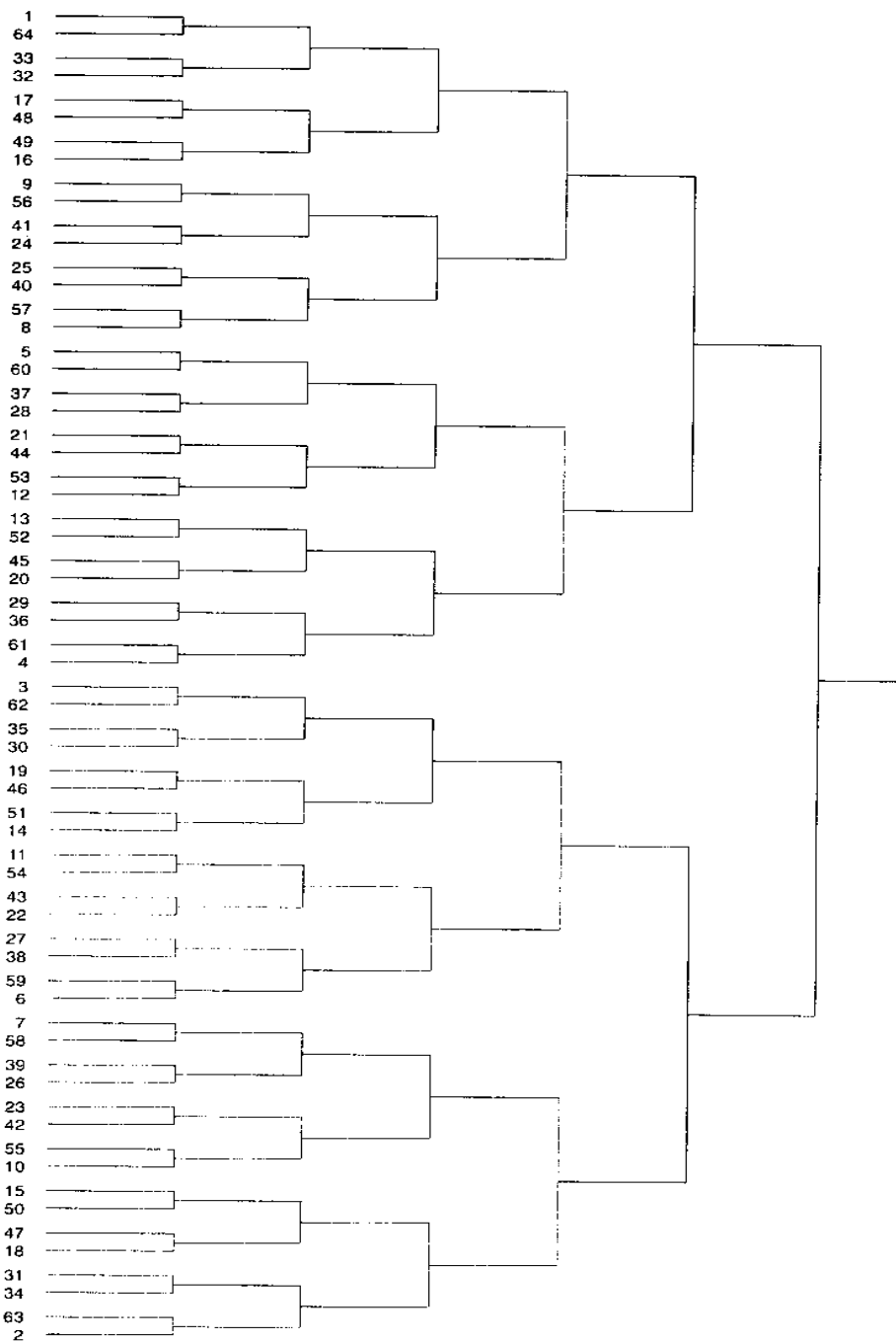


Figure 7a. Bout plan for individual direct elimination (table for 64 fencers)

個人種目のエリミナシオン・ダイレクトの試合予定 (64 選手の表)

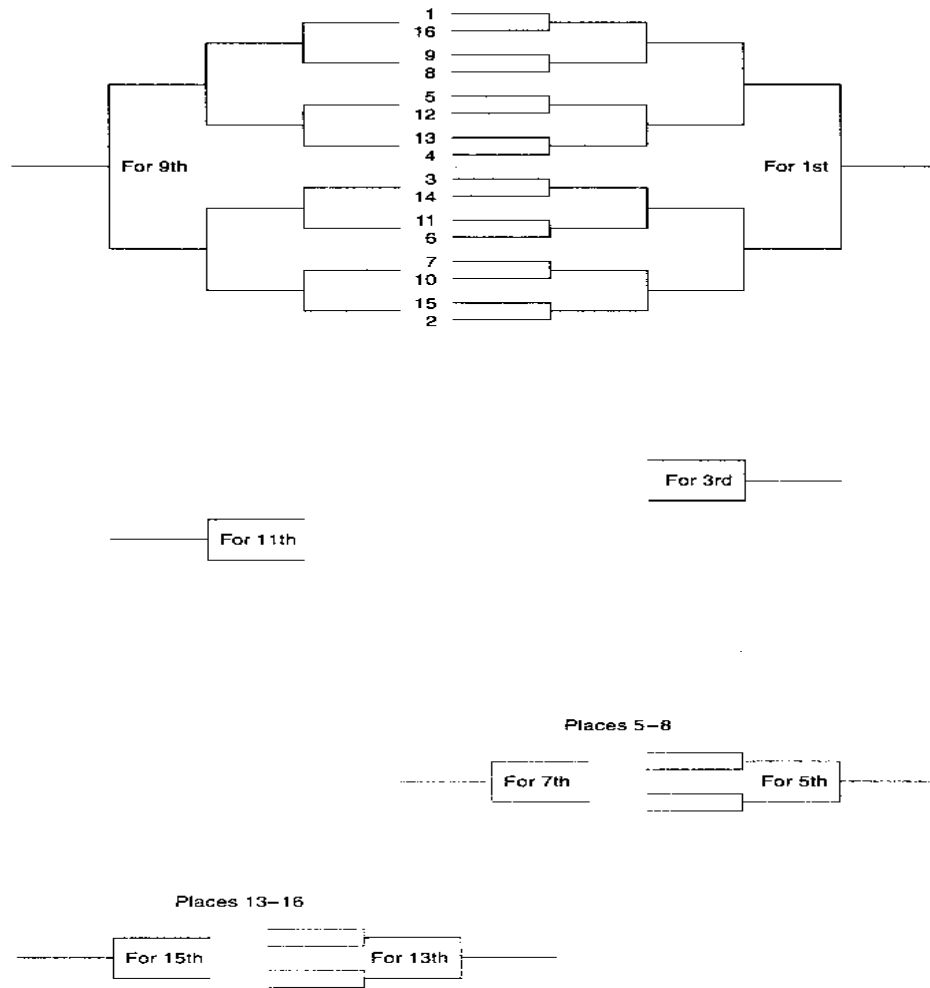


Figure 7b. Bout plan for direct elimination for team competitions (16 teams)

団体種目のエリミナション・ディレクトの試合予定 (16 チーム)